

逐條土地收用法資料(二三終)

高坂孝三

(第八十二條ノ部)

一、損失補償ニ關スル司法裁判所ノ權限

(四)、(大審 昭和五年(オ)第八六號 同五年九月十六日言渡)

(要旨) 收用審査會カ土地ノ損失補償金額中ニ其ノ賃借權消滅ニ對スル補償ヲ包含セシメテ裁決シタル場合ニ於テモ通常裁判所ハ右賃借權消滅ニ對スル相當補償金額ヲ確定スルノ權限ヲ有スルモノトス

(判決理由) 按スルニ土地收用ノ結果被收用者ノ被リタル損失ニ付一定ノ金額ヲ以テ其ノ補償ヲ得ムトスル請求ハ通常裁判所ニ屬シ通常裁判所ハ土地收用法ノ規定ニ則リ因果關係ト被害ノ範圍トヲ包括シテ審理ヲ遂ケ補償金額ヲ確定スルノ全權ヲ有ス

ルモノト解スヘキコト及土地收用ヨリ生スル損失ノ補償ハ包括的ニ其ノ範圍ヲ定ムルコトヲ要シ債々ノ項目ニ付各別ニ之ヲ定ムヘキモノニ非サルコトハ當院ノ判例トスル所ナリ (大正七年(オ)第八百九十六號事件大正九年七月二十三日民事聯合部判決) 本件ニ於テ上告人ノ請求原因トスル事實ハ神戸姫路電氣鐵道株式會社ヨリ上告人外二名ニ係ル土地收用及其ノ地上物件ノ移轉ニ關シ兵庫縣收用審査會ハ大正十二年七月二十日附裁決ニ依リ收用土地ナル大森廣治所有ノ姫路市驛前町字萬燈二百番ノ三宅地中收用面積九十坪七合三勺ニ對シ補償金額ヲ六千三百五十圓四十錢トシ又右地上物件ナル上告人所有ノ建物及附屬設備等ニ對シ上告人ノ受クヘキ移轉料ヲ金二千九百三十九圓四十六錢ト定メ而シテ右土地ノ上ニ上告人ノ有シタル賃借權ノ消滅ニ因ル損失ハ土地ノ損失ト各別ニ之ヲ見積リ難キモノトシ其ノ補償ヲ

土地ノ損失補償中ニ包含セシメテ決定シタレトモ右土地ノ所有者ハ土地ノ損失補償金額ヲ不當トシテ増額請求ノ訴訟ヲ提起シタルヲ以テ上告ハカ賃借權ノ消滅ニ對スル補償トシテ受クヘキ金額ハ別ニ之ヲ請求セサルヘカラサルノミナラス假ニ右補償金額ヨリ一部分ハ補償ヲ受クヘシトスルモ到底相當額ノ補償ヲ得ル見込ナシ而シテ上告人ハ右賃借權ノ消滅ニ因リ金一萬一千百三十三圓六十錢ノ損失ヲ被リタルノミナラス右物件ノ移轉料モ過少ニシテ金千百二十三圓六十錢ノ不足アリ仍テ右會社ヲ合併シタル被上告會社ニ對シ右各金額ノ支拂ヲ請求スト云フニ在リテ以上ノ請求中賃借權ノ消滅ニ對スル補償ノ請求ハ兵庫縣收用審査會ニ於テ補償スヘキモノト裁決シタル右賃借權ノ消滅ニ對シ一定ノ金額ヲ以テ補償ヲ得ントスルモノナルノミナラス同裁決カ土地ノ損失補償金額中ニ包含セシメタル右賃借權消滅ノ補償額ヲ過少ナリトシ其ノ増額ヲ求ムル趣旨ニ歸スルヲ以テ斯カル請求ハ通常裁判所ノ權限ニ屬シ通常裁判所ハ右賃借權ノ消滅ニ對スル補償金額カ土地ノ損失補償金額中ニ包含セラレタルト否トニ拘ラス其ノ相當補償金額ヲ確定スルノ權限ヲ有スルモノナルコト前説明ノ理由ニ依リ明白ナリトス

(五)

(大審 大正三年(オ)第九五六號
同四年五月五日言渡)

法 令

(要旨) 一、土地收用法第八十二條ニ所謂補償金額ノ決定トハ獨リ補償金額ノ多寡ニ付キ爲シタル場合ノミナラス補償スヘキ損失ノ有無ニ付キ爲シタル決定ヲモ包含スルモノトス

二、被收用者ノ爲シタル收用殘地ニ對スル減損價格ノ補償請求ヲ排斥シタル收用審査會ノ裁決カ補償セラルヘキ事項ニ非スト爲シタルニ非スシテ補償セラルヘキ事項ニ對シ補償スヘキ損失ナシト爲シタルモノナルトキハ被收用者ハ補償額不服ノ訴ヲ司法裁判所ニ提起シ得ルモノトス

(判決理由) 土地收用法第八十二條ニハ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得トアリテ其所謂損失補償金額ノ決定トハ獨リ補償金額ノ多寡ニ付キ爲シタル場合ノミナラス補償スヘキ損失ノ有無ニ付キ爲シタル決定ヲモ包含スルモノト解スヘキモノトス何トナレハ損失補償ニ付キ收用審査會ノ爲ス決定ハ先ツ或事項カ補償セラレハキ性質ヲ有スルヤ否ヤヲ判定シ進ンテ補償セラルヘキ性質ヲ有スル場合ニ於テ其損失ノ有無及其多寡ヲ定ムヘキモノナレハ或事項カ補償セラルヘキ性質ヲ有セスト爲シタル決定ニ對シ

テハ同法第八十一條ニ從ヒテ其救済ヲ求ムヘキモノナリト雖モ補償セラルヘキ性質ヲ有スル事項ニ對シ其損失ノ有無及其多寡ニ關スル決定ハ即チ補償金額ノ決定ニ外ナラザレハ司法裁判所ニ其不服ヲ申立ツルコトヲ得ルヤ勿論ナリ蓋シ損失ノ補償ハ被收用者カ收用處分ニ因リテ蒙ルルヘキ損失ノ填補ヲ目的トスル一ノ損害賠償ニ外ナラスシテ之カ損失ノ有無及ヒ多寡ニ關スル不服ノ訴ハ即チ損害要償ノ訴訟ニシテ行政裁判所ノ權限ニ屬セサルモノト云ハサルヘカラサルヲ以テナリ

(六) (大審 大正四年(オ)第四八二號 同五年三月六日言渡)

(要旨) 一、土地收用法第八十二條ニ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得トアリテ其所謂補償金額ノ決定トハ獨リ補償金額ノ多寡ニ付爲シタル場合ノミナラス補償スヘキ損失ノ有無ニ付爲シタル決定ヲモ包含スルモノト解スルヲ相當トス二、收用審査會カ收用殘地ニ付キ減價補償ノ必要ナシト裁決シタル場合ト雖モ其殘地ノ減價損失カ土地收用法上補償セラルヘキ事項ニ非スト爲シタルニ非スシテ補償セラルヘキ事項ナルモ補償スヘキ損失ナシトノ趣旨ニ出テタルトキ

ハ被收用者ハ補償額不服ノ訴ヲ司法裁判所ニ提起シ得ルモノトス

(七) (大審 大正五年(ウ)第二〇四號 同五年五月三十一日言渡)

(要旨) 土地收用審査會カ爲シタル補償ノ裁決ニ對スル不服申立ハ其不服ノ趣旨カ土地收用法ノ規定ニ從ヒ補償セラルヘキ事項ノ性質ノ存否ヲ爭フ場合即チ收用審査會カ土地收用法ノ適用ヲ誤リテ爲シタル裁決ノ違法ヲ理由トスルトキハ行政訴訟ニ依ルヘシ反之斯ル基本事項ニ爭テク單ニ損害ノ有無若クハ補償額ノ多寡ニ關シ異議アルニ過キサレ場合即チ補償金額ノ決定ニ對シ法律事項ノ裁量ヲ不當トスル場合ニ於テハ司法裁判所ニ出訴スヘキモノトス

(八) (大審 大正五年(オ)第八〇〇號 同五年十一月八日言渡)

(要旨) 土地收用法第八十二條ニ依リ收用審査會ノ裁決中通常裁判所ニ出訴シ得ヘキ金額ノ決定トハ收用審査會カ土地收用法第四十七條以下ノ規定ニ準據シ決定シタル補償金額ニシテ其裁決書ニ填補スヘキ事項ニ付キ各別ニ補償額ヲ

定メタル場合ニハ其各個ノ事項ニ對スル補償金額ノ決定ヲ指稱スルモノニシテ收用審査會ノ裁決ヲ經サル事項ヲ包含セサルモノトス

(九) (大審 明治三十五年(オ)第三六六號) 同三十五年十一月二十七日言渡)

(要旨) 收用審査會ノ裁決書ニ數個ノ物件ニ付キ各別ニ補償額ヲ定メタルトキ其一ニ對シテノミ不服ノ訴アル場合ニ於テハ裁判所ハ訴ノ目的タル部分ニ限り之ヲ變更シ得ルモノニシテ他ノ物件ニ對スル補償額カ假令其相當ト認ムル所ニ超過スルモノ之ヲ減削シ以テ不服ヲ申立テラレタル補償額ノ不足ヲ補ヒ得ルモノニ非ス

(判決理由) 按スルニ損害補償ノ目的ハ現實ノ損失ヲ賠償セシムルニ在リ而シテ現實ノ損失ハ各物件ニ付キ一々量定スルニアテサレハ其正確ヲ期シ難シ故ニ數個ノ物件ノ收用又ハ毀損カ損失ノ原因タル場合ニハ各物件ニ付各別ニ其額ヲ評定スヘキ條理ナリトス土地收用法第四十八條ハ則チ右法則ヲ規定シタルモノナルコトハ其第一項ニ於テ先ツ收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其損失ヲ補償スヘキ旨ヲ規定シ其第二項ニ於テ

法 令

ハ特ニ土地ノミニ付テノ損失補償額ヲ定ムルニ當リ準據スヘキ所ヲ規定シタルニ徴シ明瞭ナリ然ラハ則チ收用審査會ノ裁決書ニ數個ノ物件ニ付キ各別ニ補償額ヲ定メタルトキハ其補償額ハ各個獨立ノモノナルカ故ニ其一ニ對シテノミ不服ノ訴アルトキハ他ノ物件ニ對スル補償額ハ確定ノ效力ヲ生スルヲ以テ如上ノ場合ニハ裁判所ハ訴ノ目的タル部分ニ限り變更シ得ルモノニシテ他ノ物件ニ對スル補償額カ假令裁判所ニ於テ相當ト認ムル補償額ヲ超過スルモノ之ヲ減削シ以テ不服ヲ申立テラレタル補償額ノ不足ヲ補ヒ得ルモノニアラス

(一〇) (大審 明治三十五年(オ)第六〇九號) 同三十六年二月十九日言渡)

(要旨) 收用審査會ノ裁決書ニ數個ノ物件ニ付キ各別ニ補償額ヲ定メタルトキハ其補償額ハ各個獨立ノモノナルカ故ニ假令或物件ニ對スル補償額ヲ以テ適當ナリトスルモ收用者ヨリ其減額ヲ反求セサル以上ハ裁判所ハ之ヲ以テ他ノ物件ニ對スル補償額ニシテ不十分ナリトスルモノト差引計算ヲ爲シ收用物件全體ニ對スル補償額ヲ定ムルコトヲ得ス

(二) (大審 大正五年(オ)第六八一號) 同五年十一月十五日言渡)

(要旨) 收用審査會ノ裁決書ニ數個ノ物件ニ付キ各別ニ補償額ヲ定メタルトキハ其補償額ハ各個獨立ノモノナルカ故ニ假令或物件ニ對スル補償額ヲ以テ適當ナリトスルモ收用者ヨリ其減額ヲ反求セサル以上ハ裁判所ハ之ヲ以テ他ノ物件ニ對スル補償額ニシテ不十分ナリトスルモノト差引計算ヲ爲シ收用物件全體ニ對スル補償額ヲ定ムルコトヲ得サルモノトス

(判決理由) 仍テ記録ヲ調査スルニ本件土地ノ收用者タル被上告人ハ收用審査會ノ裁決シタル金額ニ對シ之カ減額ノ申立ヲ爲シタル形跡アルコトナシ而シテ收用審査會ノ裁決書ニ數個ノ物件ニ付キ各別ニ補償額ヲ定メタルトキハ其補償額ハ各個獨立ノモノナルカ故ニ假令或物件ニ對スル補償額ヲ以テ適當ナリトスルモ收用者ヨリ其減額ヲ反求セサル以上ハ裁判所ハ之ヲ以テ他ノ物件ニ對スル補償額ニシテ不十分ナリトスルモノト差引計算ヲ爲シ收用物件全體ニ對スル補償額ヲ定ムルコトヲ得サルコトハ夙ニ當院ノ判例トシテ示ス所ナリ本件ニ於テ山梨縣收用審査會ノ裁定シタル補償金總額ハ第一乃至第五ノ物件並ニ之カ地上物件ニ對シ各別ニ補償額ヲ定メ其總額ハ五百二十一圓四十九錢

七厘ニシテ其第五ノ物件ノ使用權收用ニ關スル補償金カ四十七圓二十三錢ナリシコトハ當事者間爭ナキ事實ニ屬シ而シテ此査定額ニ對シ收用者タル被上告人ヨリ減額ノ請求ヲ爲サザリシコト前説示ノ如クナルニ拘ラス原審及第一審ハ右使用權ノ收用ニ對スル補償額ヲ四十圓二十四錢ヲ以テ相當ナリト判示シ之カ減額ヲ爲シタルハ即チ申立ナキ事ヲ相手方ニ歸シタル不法アルノミナラス原審カ他ノ各物件ニ對スル增加補償金ヲ判定シ之ヲ計上スルニ當リ右金額ノ差額金六圓九十九錢ヲ其總額ヨリ減少シ金五十圓三十八錢三厘ト判定シ因テ當然上告人ニ歸スヘキ金額ヲ歸セシメザリシハ補償額算定ニ關スル法則ノ解釋ヲ誤ル失當アルヲ以テ原判決ハ此點ニ於テ破毀ヲ免レス

(三) (大審 大正二年(オ)第一四五號 同二年九月二十五日言渡)

(要旨) 損失補償額ニ對スル不服ノ訴ニ於テ補償請求者カ收用土地ニ關スル如何ナル權利者トシテ補償請求權ヲ有スルヤハ一ニ收用審査會ノ裁決ニ基キテ之ヲ決スヘク裁判所自ラ補償請求者カ收用土地ニ關シ如何ナル權利ヲ有スルヤヲ審査決定シ以テ損失補償額ヲ定ムルハ職權ヲ超越スルモノニシテ不法タルヲ免レス

(判決理由) 按スルニ土地收用審査會ノ決定シタル損失補償額

ニ對スル不服ノ訴ハ損失補償額ノ決定ヲ以テ其唯一ノ目的ト爲スカ故ニ其出訴者ニシテ補償請求者ナラシカ裁判所ハ唯收用審査會ノ決定シタル損失補償額カ相當ナリヤ之ヲ不足ナリトストルハ幾何ノ補償額ヲ以テ相當ナリトスルヤヲ判定スヘキノミ補償請求者カ收用土地ニ關スル如何ナル權利者トシテ損失補償ノ請求權ヲ有スルヤニ至リテハ一ニ收用審査會ノ裁決ニ從フヘク裁判所自ラ更ニ之ヲ審査スルコトヲ得ス是故ニ補償請求者カ收用土地ニ關スル如何ナル權利者トシテ補償請求權ヲ有スルヤニ付キ當事者間ニ爭アルトキハ裁判所ハ收用審査會ノ裁決ニ基キテ之ヲ確定セサル可ラス若シ否ラシテ裁判所自ラ補償請求者カ收用土地ニ關シ如何ナル權利ヲ有スルヤヲ審査決定シ以テ損失補償額ヲ定メンカ職權ヲ超越スルモノニシテ固ヨリ不法タルヲ免レス原判決ヲ閱スルニ原院ハ本件收用土地ニ關シ被上告人ノ有スル權利如何ノ論争ニ對シテ被上告人ハ本件收用土地ヲ永久無限ニ賃借シ得ヘキ權利ヲ有スルモノト判定シ被上告人カ其權利ノ一部即チ大正二十四年八月三十一日迄ノ賃借シ得ヘキ權利ニ對スル補償ヲ求ムルハ相當ナリト判示シタリ然レトモ被上告人カ此ノ如キ權利者トシテ補償請求權ヲ有スルコトハ收用審査會ノ裁決ニ基キテ之ヲ確定シタルモノナルヲ明瞭ナラスシテ或

法 令

ハ原院自ラ之ヲ審査決定シタルニ非サルヤノ疑ナキ能ハス其裁
レナルヤハ判決ノ當否ニ影響スルモノナルヲ以テ原判決ハ之ヲ
判明セサル點ニ於テ理由不備ノ不法アルモノトス

二、補償金額不服ノ訴ト補償金請求ノ權利關係

(一) (大審) 明治三十七年(オ)第一三〇號
同三十七年五月二十八日言渡

(要旨) 明治二十二年法律第十九號土地收用法ニ依レハ土地收用ノ場合ニ於テ起業者及土地所有者及關係人カ補償金額ニ關スル收用審査會ノ裁決ニ不服アルトキハ各々訴ヲ爲スノ權利ヲ有スルト同時ニ之ニ應スヘキ義務ヲ負フモノニシテ此補償金額確定ノ權利關係ハ土地所有者又ハ關係人カ起業者ニ對シテ有スル補償金請求ノ權利關係トハ全然別異ナルモノトス故ニ土地所有者カ其補償金請求權ヲ他人ニ讓渡スルモノ之カ爲メニ補償金額確定ニ何等ノ影響ヲ及ホストナシ

(判決理由) 按スルニ土地收用ノ場合起業者ト土地所有者又ハ關係人トノ間ニ於テ補償金額ノ協議調ハスシテ土地收用審査會

ノ裁決ヲ經ルモ其裁決ニ對シ不服アル者ハ一定ノ期間内ニ裁判所ニ訴ヲ爲シ得ヘキコトハ明治二十二年法律第十九號土地收用法第十五條第二項ニ規定スル所ナレハ起業者及土地所有者又ハ關係人ハ各其訴ヲ爲スノ權利ヲ有スルト同時ニ之ニ應スルノ義務ヲ負擔スルコト明カニシテ此補償金確定ノ權利關係ハ同法カ特ニ此等ノ者ノ間ニ定メタルモノニシテ土地所有者又ハ關係人カ起業者ニ對シテ有スル補償金請求ノ權利關係トハ全ク別個ノモノナリトス而シテ被上告人ハ自己カ本件ノ當事者タルハ専ラ補償金請求權利者タルニ因ルモノニシテ土地收用法ノ特別規定ニ依リタルモノニ非スト辯論スレトモ補償金請求ニ付テハ上告人ハ寧ロ債務者ノ位置ニ在ルモノナリ債務者ヨリ債權者ニ對シ請求ヲ爲スヘキ理由オキノミナラス上告人ハ起業者トシテ土地收用法第十五條ノ規定ニ從ヒ本訴ヲ提起シタルモノナレハ即チ土地所有者タル被上告人ニ對シ補償金額確定ノ權利關係ニ基キ訴ヲ爲スモノタルヤ多言ヲ要セザル所トス然レハ被上告人カ其補償金額請求權ヲ訴外者ニ讓渡シタルニセヨ別個ノ權利關係ニ基キ補償金額ヲ定メントスル本件訴訟ニ何等ノ影響アルヘキニ非ス又被上告人ハ補償金請求權利者タルト否トニ拘ラス訴訟當事者ト爲ルヘキモノトセハ訴訟提起前請求權ヲ讓渡シタル場合ノ

如キハ何等ノ利害關係ナクシテ尙ホ訴訟當事者ト爲ラサル可ナル結果トナレリト論スレトモ前段説明ノ如ク土地所有者ハ補償金額確定ニ付テハ起業者ニ對シテ權利者タルト同時ニ義務者タルモノナレハ假令補償金額請求權ヲ他ニ讓リタレハトテ此義務ヲ免ルルモノニ非サルノミナラス補償金額ノ多少ニ付テモ讓受人トノ關係上其影響ヲ蒙ルコトアルヘケレハ全ク利害關係ナシト云フヘカラス上來説明ノ如クナルニ原院ニ於テ被上告人カ補償金請求權ヲ他ニ讓渡シタルニ由リ上告人モ本訴請求ヲ維持シ得サルモノトシタルハ上告論旨ノ如ク法律ノ適用ヲ誤リタル不法アリ

(二) (大審 明治四十年(オ)第四四七號 同四十一年二月十三日言渡)

(要旨) 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者カ土地收用法第八十二條ニ從ヒ通常裁判所ニ提起スル訴ハ其裁判ニ依リ損失補償ノ權利關係ヲ成立セシムル爲メニ非スシテ既存ノ權利關係ニ付キ之カ金額ヲ確定セシメントスル趣旨ニ出ツルモノトス

(判決理由) 按スルニ土地收用法ニ付キ起業者カ土地所有者及ヒ關係人ノ損失ヲ賠償ス可キコトハ土地收用法第四十七條第一項

ニ規定シ收用時期迄ニ其補償金ヲ拂渡シ若クハ供託スヘキコト
 ハ同法第六十七條ニ規定スル所ナリ故ニ起業者カ收用土地ニ關
 スル權利取得ノ爲メ土地所有者及ヒ關係人ト協議ヲ爲スコト能
 ハス又ハ其協議ノ調ハサルニ因リ收用審査會ノ裁決ヲ求メ審査
 會ニ於テ裁決ヲ爲シタルトキハ假令審査會ノ決定シタル補償金
 額ニ對シ不服アリテ通常裁判所ニ出訴ニ及フ場合ト雖モ起業者
 ト土地所有者及ヒ關係人トノ間ニ損失補償ノ權利關係ヲ發生セ
 ルモノナルコト今更多言ヲ俟ツヘキニアラス隨テ收用審査會ノ
 裁決ニ對シ不服アル者カ土地收用法第八十二條ニ從ヒ通常裁判
 所ニ爲ス所ノ訴ハ其裁判ニ依リ權利關係ヲ成立セシムル爲メニ
 非スシテ既存ノ權利關係ニ付之カ金額ヲ確定セシムル爲メナル
 コト勿論ナリ：然ルニ原院ハ土地收用ニ付收用審査會ノ裁決
 アルモ之ニ服セスシテ通常裁判所ニ出訴スル場合ハ裁判ニ因リ
 初メテ補償ノ關係ヲ發生セルモノニシテ裁判以前ニ於テハ起業
 者ト土地所有者及關係人トノ間未タ其關係ヲキモノト誤解シ或
 ハ上告人ニ於テ權利關係ノ成立セル事由ヲ主張セサルモノトシ
 又ハ本訴ヲ以テ判決ニ因リ權利關係ヲ成立セシメントスル趣旨
 ニ出テタルモノトシ因テ上告人ノ請求ヲ理由ナシト判決シタル
 ハ頗ル不法ニシテ原判決ハ全部破毀ヲ免レス

三、補償金額不服ノ訴ノ裁判籍

(一) (大審 大正三年(才)第二八七號
 同四年六月五日言渡)

(要旨) 土地收用ニ因ル損失補償ノ訴ハ民事訴訟法第二十
 三條第二項ニ所謂不動産ニ加ヘタル損害ノ訴中ニ包含スヘ
 ク不服ノ訴ハ土地ノ所在地ニ於テ爲スコトヲ許スモノトス
 (判決要旨) 土地收用法ニ依リ起業者カ土地所有者ニ對シ爲ス
 ヘキ損失ノ補償ハ土地ノ所有權ヲ剝奪スルニ因リテ生シ之ヲ不
 動産ニ加ヘタル損害ト云ヒ得ヘキカ故ニ補償金額ノ決定ニ對ス
 ル不服ノ訴ハ民事訴訟法第二十三條第二項末段ノ不動産ニ加ヘ
 タル損害ノ訴ニ屬スルモノト論スヘキモノナルノミナラス元來
 收用ニ因リ土地所有者ノ受クル損失ノ状況程度ヲ審査スルコト
 ハ其土地所在地ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲スヲ便宜トスルモノナレ
 ハ補償金額ノ決定ニ對スル不服ノ訴ヲ土地ノ所在地ニ於テ訴フ
 ルコトヲ許スハ費用勞力時間ノ節約ヲ旨トスル民事訴訟法ノ精
 神ニ適スルモノニシテ民事訴訟法ハ正ニ第二十三條第二項ノ不
 動産ニ加ヘタル損害ノ訴中ニ補償金額ノ決定ニ對スル不服ノ訴
 ヲモ包含セシメタルモノナルコトハ之ヲ疑フノ餘地ナシ

(二) (大審 大正七年(オ)第三二四號 同七年五月六日言渡)

(要旨) 土地收用補償金請求ノ訴ハ民事訴訟法第二十三條第二項所定ノ不動産ニ加ヘタル損害ノ訴ノ内ニ包含セラルルモノトス

(判決理由) 土地收用補償金請求ノ訴カ民事訴訟法第二十三條第二項所定ノ不動産ニ加ヘタル損害ノ訴ノ内ニ包含セラルルコトハ當院ノ判例トスル所ナルヲ以テ(大正三年(オ)第二八七號事件同四年六月五日判決)所論ハ理由ナシ

(三) (大審 明治四十一年(オ)第三六號 同四十一年三月二日言渡)

(要旨) 民事訴訟法第二十三條ニ所謂不動産ノ所有者ニ對スル人權ノ訴トハ不動産ノ所有者ヲ其資格ニ於テ被告ト爲シ之ニ對シテ提起スル債權ノ訴ヲ指稱ス從テ收用審査會ノ補償額決定ニ不服アル者カ起業者ノ承繼人ニ對シ起業者タル資格ニ於テ自己ノ主張スル補償額ヲ承認セシメ且其辨濟ヲ求メントスル訴ノ如キハ之ニ該當セサルモノトス

(判決理由) 按スルニ民事訴訟法第二十三條第二項ニハ不動産

上ノ裁判籍ニ於テハ不動産ノ所有者若クハ占有者ニ對スル人權ノ訴ヲ起スコトヲ得トアリ所謂不動産ノ所有者ニ對スル人權ノ訴トハ不動産ノ所有者ヲ其資格ニ於テ被告ト爲シ之ニ對スル債權ノ訴ノ意ナルコトハ右法文ノ解釋上毫無疑ヲ容レス故ニ土地ノ所有者ニ對スル雨水疎通妨害排除ノ訴等ノ如キハ右規定ニ依リ不動産タル土地ノ裁判籍ニ提起スルコトヲ得ルモ本件ハ收用審査會ノ補償額決定ニ不服ヲ唱ヘ土地收用法ノ規定ニ從ヒ起業者ノ承繼人タル被告人ニ對シ起業者タル資格ニ於テ上告人主張ノ補償額ヲ承認セシメ且之ニ對シ其辨濟ヲ求メントスル訴ニシテ被告人ヲ土地ノ所有者ナリトシ其資格ニ於テ之ヲ被告トスルニアラス故ニ本件ノ訴ハ前顯民事訴訟法第二十三條第二項ノ規定ニ該當セサルモノトス然ルニ上告人ニ於テ收用土地所在地ノ裁判所ニ於テ本件ノ如キ訴ヲ受理スルハ便宜ナルヲ以テ同條ノ法意モ亦收用土地所在地ノ裁判所ヲ以テ受訴裁判所トスルモノナリト主張スルモ便宜不便宜ニ依リ裁判管轄ヲ定ムルカ如キハ立法論トシテハ可ナルモ解釋論トシテハ大ナル價値アルモノトスルヲ得ス

(四) (大審 明治三十九年(オ)第三八六號 同三十九年十月十九日言渡)

(要旨) 起業者カ收用ニ係ル土地ノ所有權ヲ取得シタル後

被收用者ニ對シテ收用補償價格ノ減額ヲ請求スル訴ハ民事訴訟法第二十三條第二項ノ規定ニ該當セス

(判決理由) 按スルニ原院ノ確定シタル事實ニ依レハ本訴收用ニ係ル地所ノ所有權ハ明治三十八年十一月三十日ニハ被收用者タル被上告人ヨリ起業者タル上告人ニ移轉シ了リタルモノナリ然ラハ則チ上告人カ本件ヲ提起シタル當時即チ明治三十九年二月十五日ニ在リテハ被上告人ハ右地所ノ所有者ニ非サルヲ以テ上告人ヨリ被上告人ニ對スル土地收用補償價格減額請求即チ人權ノ訴ハ民事訴訟法第二十三條第二項ノ不動產ニ對スル人權ノ訴ニ該當セサルコト明ナリ故ニ原院ニ於テ本訴ハ同條第項ニ該當セサルモノトシ被上告人ノ管轄違ノ抗辯ヲ理由アリト判定シタルハ其當ヲ得タルモノナリ

四、補償金額ニ對スル不服ノ訴ノ相手方

(一) (大審昭和二年(オ)第六八七號
同五年一月二十九日民事聯合判決)

(要旨) 國道ニ關スル事業ノ爲ニ收用セラレタル土地ノ補償金額ニ對スル不服ノ訴ハ國ノ行政機關タル府縣知事又ハ當該府縣ノ執レヲ相手方トナスモ妨ナキモノトス

(判決理由) 土地收用法第八十二條ハ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ旨及該訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得サル旨ヲ定メタルニ止マリ其ノ所謂不服者トシテ右訴訟ヲ提起シ得ヘキ者ハ何人ナリヤ及該訴訟ニ於テハ何人ヲ以テ被告ト爲スヘキモノナリヤヲ明示セスト雖當該收用ニ於ケル被收用地所有者カ該訴訟ヲ提起シ得ヘキコトハ固ヨリ疑ナク其ノ被收用地所有者カ原告タル場合ニ於ケル該訴訟ノ被告カ之ニ對スル補償金支拂義務者タルコトモ亦多ク論スルヲ須ヒス蓋前敘決定ニ付被收用地所有者ト相反ノ利害ヲ有スル者ハ之ヲ措テ他ニ復タ有ルコト無キヲ以テナリ而シテ道路法第十一條第十七條第二十條ニ依レハ國道ハ國ノ營造物ニシテ國ノ行政機關タル府縣知事之カ管理者ト爲リ其ノ新築改築維持修繕ヲ爲スヘキモノナルコト明ナルヲ以テ國道ニ關スル事業ノ爲ニ土地ヲ收用セムトスル場合ニ於テハ右資格ニ於ケル府縣知事其ノ起業者タルヘキコト勿論ニシテ從テ該資格ニ於ケル府縣知事ハ被用地其ノ他關係人ノ受ケタル損失ヲ補償スヘキモノナルコト土地收用法第十二條第四十七條第六十條第六十二條等ニ依リ明ナリトス然レトモ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新築又ハ改築ニ要スルモノノ外國道ニ關ス

ル費用ハ當該道路ノ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トスルコトハ道路法第三十三條第二項ノ明定スルコロナルト共ニ國道ノ管理者カ府縣知事ナルコトハ前條ノ如クナルヲ以テ前掲特殊ノモノヲ除ク外國道ニ關スル費用ハ當該府縣ノ負擔タルヘキコト論ヲ俟タス而シテ右ノ規定ニ所謂公共團體ノ負擔トストハ公共團體ヲ以テ費用金ノ支拂ヲ受クヘキ權利者ニ對スル直接ノ支拂義務者ト爲スノ趣旨ニシテ之ヲ以テ管理者タル府縣知事即之ニ依テ代表セラルル國ニ對スル義務者トナシ一旦公共團體ヨリ國ニ支拂ヲ爲サシメ更ニ國ヨリ如上權利者ニ對シテ支拂ヲ爲スコトヲ要スルカ如キ關係ヲ認メタルモノニ非スト解スルヲ相當トス又右規定ハ國道ニ關スル事業ノ爲ニスル土地收用ニ基ク土地收用法上ノ起業者ノ補償金支拂義務ヲ排除スルノ趣旨ニアラサルコト勿論ナレハ國道ニ關スル事業ノ爲メ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スル場合ニ於テハ起業者タル府縣知事即之ニ依リテ代表セラルル國カ被收用地所有者ニ對スル補償金支拂義務者タルハ勿論公共團體タル府縣モ亦同様義務者ナリト謂ハルヲ得ササルト共ニ前條訴訟ニ於テ是等義務者ヲ以テ共同被告ト爲スコトヲ要スト爲スノ理由存セザルヲ以テ收用地所有者ヨリ訴訟ヲ提起スルニ當リテハ起業者タル國ノ行政機關タル府縣知事ヲ以テ被告ト爲スモ亦固ヨリ不可アルコトナシ必スシ

モ前者ヲ以テ被告ト爲スヲ要セス又兩者ヲ以テ共同被告ト爲スノ要アルモノ非ニス

次ニ本件ハ土地收用法ニ依リ大阪府及神戸市間ノ國道改築工事ノ爲メ收用地トシテ公告セラレタル上告人所有地ニ對シ大阪府收用審會ニ於テ與ヘタル補償金額ノ決定ニ對シ上告人ニ於テ不服アリトシテ提起シタル訴ナルコト上告人ノ趣旨ニ徴シ顯然タルヲ以テ大阪府ヲ被告ト爲スモ亦毫モ妨クルトコロナキコト前段説明ニ照シ明ナリトス然ルニ原審ニ於テ本訴ハ必ス大阪府知事ヲ以テ被告ト爲スコトヲ要スト爲シ依テ以テ上告人ノ請求ヲ斥ケタルハ畢竟法律ノ解釋ヲ誤リ之ヲ不當ニ適用シタルモノト謂ハサルヲ得スシテ論者ハ執レモ結局理由アリ原判決ハ破毀ヲ免レス從テ當院從來ノ判例(大正十五年(オ)第一七三號同年七月二十日判決)ハ之ヲ變更スヘキモノトス

註、大正十五(オ)第一七三號同年七月二十日判決、府縣知事ハ國ノ行政機關トシテ一面府縣道ノ管理者ト爲リ其ノ道路ニ關スル事務ヲ執行シ他面土地收用ニ關シ起業者ト爲リ損失ヲ蒙リタル者ニ對シ補償ヲ爲ササルヘカラサルモノニシテ從テ之カ被害者ヨリ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ府縣知事ハ法律上起業者トシテ訴訟ノ相手方タルヘキモノト解スルヲ當當トス

(二) (大審 昭和三年(オ)第四〇八號 同五年二月二十二日言渡)

(要旨) 都市計畫法ニ依ル土地收用ノ補償金額ニ對スル不
服ノ訴ハ都市計畫事業ヲ執行スル行政廳又ハ其ノ統轄ノ下
ニアル公共團體ノ執レヲ相手方ト爲スモ妨ナキモノトス

(判決要旨) 業スルニ土地收用法第八十二條ハ收用審査會ノ裁
決中補償金額ノ決定ニ對シ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スル
コトヲ得ル旨及其ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコ
トヲ得サル旨ヲ規定スルニ止リ何人カ其訴訟ノ正當ナル當事者
タルヘキヤヲ明示セスト雖其ノ訴訟ノ性質カ補償金額ニ對スル
不服申立ノ方法タル以上ハ補償金ノ支拂ヲ受クヘキ權利者及義
務者カ互ニ相手方トシテ其ノ訴訟ノ正當ナル當事者タルヘキコ
ト當然ナリト云ハサルヘカラス而シテ同法第四十七條第六十條
ニ依レハ土地所有者及關係人ハ補償金ノ支拂ヲ受クヘキ權利者
ニシテ起業者ハ其ノ義務者ナルカ故ニ土地所有者カ原告トシテ
右訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ起業者ヲ被告ト爲スヘキコト論
ヲ俟タス然ルニ都市計畫法第十六條第一項ニ依レハ道路ニ關ス
ル都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土
地ハ之ヲ收用スルコトヲ得ヘク又同法第十八條第一項ニ依レハ

右ノ土地收用ニ關シテハ同法ニ別段ノ定アル場合ノ外土地收用
法ヲ適用スヘキモノナルカ故ニ彼上說明シタル土地收用法ノ各
規定モ亦總テ右ノ土地收用ニ適用アリ而シテ都市計畫法第五條
同法施行令第一條ニ依レハ都市計畫事業ハ原則トシテ市ヲ統轄
スル行政廳之ヲ執行スヘキモノナルカ故ニ右ノ土地收用ニ付テ
ハ其ノ行政廳ハ土地收用法ニ所謂起業者トシテ土地所有者ニ對シ
補償金支拂義務ヲ負擔シ從テ土地所有者ノ提起スル補償金額決
定不服ノ訴訟ニ於テ被告タル適格ヲ有スヘキモノトス然ルニ都
市計畫法第六條ニハ都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ其ノ執
行者タル行政廳ノ統轄スル公共團體之ヲ負擔スヘキ旨ヲ規定シ
タリ此ノ規定ハ右ノ土地收用ニ付テハ起業者タル行政廳ノ外ニ
公共團體ニモ補償金ヲ直接土地所有者其ノ他ノ權利者ニ對シ支
拂フヘキ義務ヲ負擔セシムル趣旨ヲ包含スルモノト解スヘク之
ヲ以テ公共團體カ行政廳ニ對シ補償金支拂義務アルコトヲ定メ
タルモノト解スヘキニ非ス亦之ヲ以テ行政廳カ起業者トシテ補
償金支拂義務アルコトヲ否定シタルモノト解スヘキニ非ス然レ
ハ右ノ土地收用ニ付テハ公共團體モ亦土地所有者ニ對シ補償金
支拂義務ヲ負擔シ從テ冒頭說明セル理由ニ依リ土地所有者ノ提
起スル補償金額決定不服ノ訴ニ於テ同シク被告タル適格ヲ有ス
ヘキモノト謂ハサルヘカラス斯クノ如ク道路ニ關スル都市計畫

事業ニ必要ナル土地ノ收用ニ付土地所有者ノ提起スル補償金額決定不服ノ訴訟ニ於テハ事業執行者タル行政廳ヲ被告ト爲シ得ヘク又其ノ事業執行ニ要スル費用ノ負擔者タル公共團體ヲ被告ト爲シ得ヘキモノニシテ兩者ヲ共同被告ト爲スノ必要アリト爲スヘキ何等ノ理由ナキニ依リ其ノ孰レカ一方ヲ被告ト爲スヲ以ルモテ足ノト解セサルヘカラス本件ニ於テ係争道路ニ關スル都市計畫事業ハ彙ニ名古屋市區改正ノ計畫トシテ大正七年法律第三十六號ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル事業ナル處其ノ後都市計畫法ノ施行ト共ニ同法第三十條ニ從ヒ同法ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル都市計畫事業ト看做サレ爾後同法ニ從ヒ都市計畫事業トシテ之ニ必要ナル上告人ノ所有ノ土地カ内務大臣ノ裁定ニ依リ收用セラレ其ノ損失補償金額ニ付愛知縣收用審査會ノ裁決アリタル事實及右都市計畫事業ノ執行者カ名古屋市長タル事實ハ原判決ノ確定セル所ニシテ原告ハ此ノ裁決ヲ不服トシテ土地收用法第八十二條ニ依リ本訴ヲ提起シタルモノナルコト上告人ノ主張ニ依リ明瞭ナリ、然レハ本訴ニ於テハ事業執行者タル名古屋市長ヲ被告ト爲シ得ルト同時ニ之ニ代ヘテ其ノ統轄ノ下ニアル名古屋市長ヲ被告ト爲スモ妨ナキモノトス

五、出訴期間經過後ニ於ケル補償金額不服ノ申立

(一) (大審 昭和五年(オ)第八六號
同五年九月十七日言渡)

(要旨) 損失補償金額決定ノ一部ニ對シ法定ノ期間内ニ通常裁判所ニ出訴シタル以上ハ右期間經過後ニ於テモ申立ノ擴張ニヨリ他ノ部分ニ對スル不服ヲ主張スルコトヲ妨ケサルモノトス

(判決理由) 土地ノ收用ヨリ生スル損害ノ補償ハ包括的ニ其ノ範圍ヲ定ムヘキモノナルヲ以テ前記收用審査會ノ裁決中賃借權消滅ニ關スル部分ト移轉料ニ關スル部分トハ別個獨立ノ決定ヲ構成スルモノニ非スシテ一個ノ補償金額決定ノ内容ヲ爲スニ過キサレモノト解スルヲ相當トスヘク從テ此ノ決定ヲ不當ナリトシ上告人カ法定ノ期間内ニ通常裁判所ニ出訴シタル以上最初ニ於テハ右賃借權消滅ノ補償ニ關スル部分ノミニ付不服ヲ述ヘタルニ過キストスルモ之ニ依リ右補償金額決定ハ其ノ確定ヲ阻止セラルヘキヲ以テ其ノ後ニ於テモ不服ノ理由ヲ追加シテ其ノ請求ヲ擴張スルコトヲ妨ケサルモノト解セサルヘカラス然ラハ右移轉料増額ノ請求ハ原判決示ノ如ク之ヲ出訴期間經過後ノ訴ト爲スヘキニ非サルヲ以テ原判決力之ヲ不適法ナリトシテ棄却シタ

ル第一審判決ヲ是認シタル點モ亦不法タルヲ免レズ

第八十三條 本法ノ規定ニ依ルテ訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セズ

地ノ收用又ハ使用ヲ停止セズ

附 則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

ヨリ之ヲ起算ス

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

土地收用法第八十五條第三項ニ基キテ發スル命令ノ件

(明治三十三年三月三十一日) 勅令第一〇三號

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ

法 令

引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラスシテ買上ケタル土地

二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地

三 明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得スルコトヲ得ヘキ土地

四 土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地

五 土地收用法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附 則 本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

公用土地買上規則ニ依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地處分等ノ場合ニ於ケル取扱方ノ件

(明治三十三年五月十八日) 內務省訓令五二二五號

第一條 明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ收用シタル土地ニ關シ賣拂、讓與、交換等ノ處分ヲ爲シ若ハ官有地中他ノ種目ニ組換ヘ例ヘハ公用ニ供スル土地ヲ他ノ公用ニ供シ又ハ不用ノ土地ヲ御料地社寺境内地ニ編入スルノ

類)ヲ爲スコトヲ要スルトキ本大臣ニ稟請スルモノハ稟請書ニ其儘限リ處分シタルモノハ官有土地増減異動報告中摘要及事由欄ニ左ノ事項ヲ詳記スヘシ

一 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ニシテ本年勅令第百三號規程各號ノ一ニ該當スルモノニ在テハ其事由
二 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ニシテ本年勅令第百三號規程各號ノ一ニ該當セサルモノ及土地收用法ニ依リ收用シタル土地ニ在テハ舊所有者ニ於テ買受クルコトヲ得サルニ至リタル事由(公用土地買上規則ニ依リ買上ケタリト雖茲後引續キ國有ニ屬シ居リシモノナリ、土地收用法第六十六條第一項規定ノ期間ヲ經過シ期ササルモノナリノ類)

第二條 公用土地買上規則ニ依リ買上ケ又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地ヲ各區ニ於テ其所有ニ供セムトスルカ爲メ例ニ依リ支障ノ有無ヲ問合來リタルトキ前條第一號、二號ニ掲クルカ如キ事由アルモノハ其事由及舊所有者ニ於テ買受タルコトヲ得ヘキモノアルトキハ其事由ヲ同答書ニ詳記スヘシ
右訓令ス

同上ノ件

(明治三十三年五月十八日) 内務大臣通知房庶甲第一三三號

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ

又ハ土地收用法ニ依リ收用シタル土地ヲ賣省(廳)ノ所有ニ供シ又ハ同上ノ土地ニシテ賣省(廳)所管ニ屬スルモノヲ賣省へ還付シ(讓渡)又ハ交換ノ爲メ還付セラルルトキ亦同シ)若クハ他廳ノ使用ニ移サントセラルルトキハ其公用土地買上規則ニ依リ買上ケタルモノニシテ本年勅令第百三號規程各號ノ一ニ該當スルモノナルトキハ其事由又同規則ニ依リ買上ケタリト雖モ右勅令規程各號ノ一ニ該當セサル土地收用法ニ依リ收用シタル土地ニシテ舊所有者ニ於テ買受クルコトヲ得サルニ至リタルモノナルトキハ其事由ヲ賣省へノ照會書ニ明記相成度尙他廳へハ別紙ノ適及訓令候此段申進候也

一 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ノ買戻

(内務) 大正五年五月三日(土第百五八號) 福岡縣知事宛、土木局長 同答

(要旨) 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ハ其買上ノ當時ヨリ引續キ國有ニ屬セルモノニ非サルニ於テハ明治三十三年三月勅令第百三號ノ適用ナシ從テ右勅令第二號ノ規定ニヨリ補償價格ヲ以テ買戻シ得ヘキモノニ非ス

(原文) 標記ノ件密月四日(土第一六五〇號)ヲ以テ御照會ノ次第

有之候處右土地ハ買上ノ當時ヨリ引續キ國有ニ屬セルモノニ非サルニ依リ明治三十三年三月勅令第百三號ノ適用ヲ受ケサル義ト存候

(福岡區知事傳)

客年八月二十日附内務省訓令第四五一號ヲ以テ司法省ヨリ土地受領ノ上賣却方御訓令相成候本縣福岡市須崎裏町地内ノ監獄敷地客月十五日受領濟ニ付本月十日ヲ以テ公賣ニ付スヘキ旨廣告取計候處右土地ノ一部ハ監獄擴張ノ際公用土地買上規則ニ依リ收用セラレタル土地ナルヲ以テ元收用價格ヲ以テ拂戻相成度旨關係者ヨリ出願來候依テ調査シタルニ出願ノ個所ハ今回處分ヲ爲スヘキ土地ノ一小部分ニハ候得共願入申立ノ如ク明治十八年十二月二十四日附土第五百三號監獄敷地買上ノ義ニ付本縣ノ伺ニ對シ明治十九年四月七日内務大臣ノ認可ニ基キ同年四月廿一日土地買上規則ニ依リ地方發ヲ以テ買上ケ尙同時ニ官有地第一種監獄敷地ニ編入ノ義達方取計候モノニ有之候處本縣監獄署敷地ハ總テ明治三十三年一月法律第四號ニ依リ同年十月一日ニ於テ國庫ニ歸屬シ之カ結果トシテ本縣ニ於テハ明治三十四年二月十五日ヲ以テ官有地第二種司法省所轄監獄署用地ニ地種粗替ヲ爲シタルモノニ有之候就テハ買上當時ハ官有地ト稱スルモ其實所有權ハ縣ニ屬スルモノナルヲ以テ明治三十三年三月勅令第

法 令

百三號土地收用法ニ依ル命令ノ件中公用土地買上規則ニ依リ買上ケ引續キ國庫ニ屬スル土地ナル規則ニ該當セサルノミナラス土地收用法施行ノ際ハ現ニ本縣ニ於テ修理保存費ヲ負擔セル土地ナルヲ以テ同伴第二條ニ依リ土地收用法ノ規定ニ依リ補償價格ヲ以テ買戻可相成筋合ニ無之モノト被存候得共疑義ニ涉リ候條御意見承知致度

二、本條第三項ノ注意

(一四議 明治三十三年二月三日)
衆議院

(要旨) 公用土地買上規則ニ依リ買上ケタル土地ノ買戻ヲ認ムヘク當初ノ法案ヲ修正シタル理由並ニ本項ニ所謂命令ノ定ムルトコロノ範圍

(特別委員長報告) 八十五條ヲ委員會ニ於テ修正ヲ致シマシタノデ、聊カ其ノ修正ヲ致シタ理由ヲ述ベテ置カナケレバナラヌト思ヒマスカラ簡單ニ其ノ理由ヲ述ベマス此ノ八十五條ニ依リマスルト、現行ノ土地收用法ニ依ツテ收用セラレタモノニ對シテハ不用ニ歸シタ場合ニハ之ヲ元所有者ニ賣渡スコトニナツテ居ル、所ガ公用土地買上規則ニ依ツテ政府ガ買收シ又ハ起業者ガ收用法ヲ適用セラレテ事業ヲ起シテ居タ所ガ其レガ途ニ不用

ニ歸シテ、今日ハ或ハ政府ナラ政府ノ所有ニナツテ而モ其ノ土地ヲ使用シテ居ラヌ斯ウ云フ様ナモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ本條ノ規定ヲ準用スルコトニ修正致シタノデアリマス。サウ致シマスルト此ノ法律ノ實施サレマシタ場合ニハ公用土地買上規則ニ依ツテ政府カ買上ゲマシテ現ニ國有ニナツテ居リマス分ハ元所有者カ之ヲ買戻スコトガ出來ルト云フ事ニナル譯デアリマス。此ノ修正ヲ加ヘマシタ譯ハ、此ノ法律案ノ如キニ至ツテハ餘程私權ト云フモノガ重シテアツテ起業者ノ方ニモ所有者ノ方ニモ偏重偏輕ト云フ嫌ガ無イノデ御座イマスケレドモ、此ノ以前ノ收用法ナリ公用土地買上規則ナリニ至ツテハ殆ト所有者ノ私權ト云フ方ニ輕キ傾ヲ有シテ有ルノデ御座イマス。就中公用土地買上規則ノ如キハ殆ト政府ノ命令ニ依ツテ引上ゲルト云フ様ナモノデアツテ——例ヘテ見マスレバ殆ト徵發サレルト云フ位ノモノデ無論脅迫的ニ政用シタ所ノ土地デアルカラシテ——之ハ其ノ不用ニ屬シタ以上ハ元ノ所有者ニ戻スコトハ當然デアル。サウ云フ所ヨリ第八十五條ノ第三項ニ豫テ諸君ノ手許ニ御御回付シテ御座イマス所ノ修正意見ノ如ク修正シタ譯デアリマス。

(聞) 命令ノ定ムル所ト云フノハ如何ナル範圍マデ之ガ及ブノデアルカ固ヨリ此ノ命令ノ定ムルト云フコトニナリマスルト各

取扱規則ニ依ツテ爲シ得ルコトハ分ツテ居ルコトデ御座イマスルガ例ヘバ……主務省ニ於テ恣ニ之ヲ他ノ東京府トカ何トカ云フモノト交換スルコトガ出來ルト云フモノニ至ル迄モ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フノ範圍ヲ廣メテアルヤ否ヤ或ハ其ノ法文ニ定メル所ニ依ツテ其ノ範圍ヲ行フカ否カヲ何ヒ度イ。

(特別委員長答) 御答致シマスルガ、命令ノ定ムル所ト云フコトハ今御尋ノ如ク恣ニ選信省ノモノヲ東京府ト交換スルトカ或ハ其ノ他ノモノト交換スルト云フコトハ範圍ニ入ツテ居リマセヌ。範圍ニハ入ツテ居リマセヌガ總テ不用タルモノハ總テ下ゲルコトニナリマシテハ聊カ嫌ノ生ズルコトガ有ラウト思フ、其レ故ニ是々ノ種類ノモノハ或ハ賣下ゲルコトニスルトカ、或ハ斯ウ云フ性質ニナツタモノハ下ゲナイトカ云フ區別ヲ附ケルコトニシナケレバナラヌダラウト思ヒマス。

第八十六條 第十五條乃至第十七條ノ規定ニ依リ町村長ノ爲スベキ職務ハ北海道ニ於テハ支廳長之ヲ行フ本法ニ依リ町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村長ニ準ズヘキ者之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ

依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

附 則 (昭和二年法律第三十九號附則)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和二年勅令第二百七十二號ヲ以テ同年九月十五日ヨリ施行ス)

大正十五年法律第七十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前收用審査會ノ裁決ヲ求メタル收用又ハ使用ニ付テハ第四十三條ノ規定ヲ除クノ外仍從前ノ例ニ依ル但シ第三十五條第二項ノ規定ニ依リ却下ノ裁決アリタルモノニ付テハ其ノ裁決ニ對シ訴願訴訟ヲ爲ス場合ヲ除クノ外此ノ限ニ在ラズ

本法施行前從前ノ第七十八條又ハ第八十條ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ニシテ本法施行ノ際未タ其ノ裁判ヲ受ケザル者ハ本法ニ依リ處分ス但シ過料ノ額ハ同條ノ罰金ノ額ヲ超ユルコトヲ得ズ

法 令

附 則 (昭和六年法律第五十三號附則)

本法中專用自動車道ニ關スル規定ハ自動車交通事業法施行ノ日ヨリ、國立公園ニ關スル規定ハ國立公園法施行ノ日ヨリ之ヲ施行

終

編輯後記 本誌第二十卷第四號以降二十三回ニ互ツテ連載シタ本稿モ之ヲ以テ終リテ告グルコトヲナツタ。連載中出タ新シイ判例等ハ能フ限り集録シタ心算デアアルガ條文ノ關係上已ムヲ得ズ保留シタモノモアル。後日補訂シテ成ル可ク充實セシメ度イト思ツテ居ル。(高坂生)

